

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスまはる志布志			
○保護者評価実施期間	令和7年10月31日		～	令和7年11月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	5
○従業者評価実施期間	令和7年12月15日		～	令和7年12月24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月25日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	安心感のある支援体制と職員対応	職員の関わり方や言葉遣い、送迎時の対応、施設内の安全管理などについて、日頃から丁寧さと安心感を大切にした対応を行っています。保護者との連絡や説明も分かりやすさを意識し、日常的な情報共有を通じて信頼関係の構築につなげています。	現在行っている支援や対応の良さを職員間で共有し、継続的に維持できるよう振り返りや研修を重ねていきます。安全管理や保護者対応についても、事業所全体で共通理解を深め、より安定した支援体制の強化を図っていきます。
2	療育内容・環境面における安定した取組	療育内容については、個別支援計画に基づき、子どもの状態や成長に応じた活動を行っています。清潔で落ち着いた環境づくりや、クールダウンスペースの確保など、子どもが安心して過ごせる空間づくりにも配慮しています。	現在の療育や環境整備を土台に、活動の意図や支援の狙いを職員間で改めて整理していきます。日々の実践を振り返りながら、より分かりやすく一貫性のある療育提供につなげていきます。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援の考え方・対応方法の整理と人材育成	日々の支援や安全管理については、職員それぞれが経験を積み重ねながら対応してきましたが、その判断基準や支援の考え方を、事業所全体の共通認識として体系的に整理していく段階にあると捉えています。新人職員を含め、誰が関わっても同じ水準の支援を行うための仕組みづくりが求められています。	支援の基本となる考え方や安全確認のポイントを整理・言語化し、研修やOJT、事例共有を通じて職員間で共有を進めていきます。経験や工夫を組織として蓄積し、支援の質を安定して維持できる体制づくりを進めます。
2	情報共有や関わり方における多様なニーズへの対応	保護者との関わり方や情報共有については、家庭ごとに求める形が異なり、一律の方法では対応しきれない面があります。事業所として、より柔軟な関わり方を整理していく必要がある段階に来ていると考えています。	日常的な連絡や情報提供を基本としつつ、保護者それぞれの希望や状況に応じた関わり方を検討していきます。無理のない形で情報共有の選択肢を広げ、安心して相談できる関係づくりを継続していきます。
3			